

次なる潮流:S&P500採用候補20社の徹底分析

米国株式市場の健全性を示す最も重要なバロメーターであるS&P500指数への採用は、企業が米国経済のトップクラスに仲間入りしたことを意味する栄誉です。本分析では、採用への準備状況が異なる20社を特定し、4つのカテゴリーに分類して解説します。

S&P500採用の厳格な基準

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス委員会によって管理される選定プロセスは、厳格な定量的基準と定性的な判断が融合した、まさに芸術と科学の結晶と言えるでしょう。委員会は指数が米国経済を適切に代表する構成であり続けることを目指しています。

主要な採用基準

- 米国企業であること
- 時価総額が227億ドル以上(2025年7月時点)
- 米国会計基準(GAAP)で継続的な黒字を達成
- 高い流動性を維持
- 発行済み株式の大部分が公開市場で取引可能



カテゴリー1:最有力候補(準備万端)

これらの企業は、すべての定量的要件を満たすかそれを上回っており、強力な戦略的背景を持っています。各セクターで空きが出次第、採用される可能性が極めて高いと考えられます。

バーティブ・ホールディングス (VRT)

時価総額600億ドル超。データセンター向け電源・冷却インフラの主要サプライヤーとして、AIブームの直接的な受益者です。

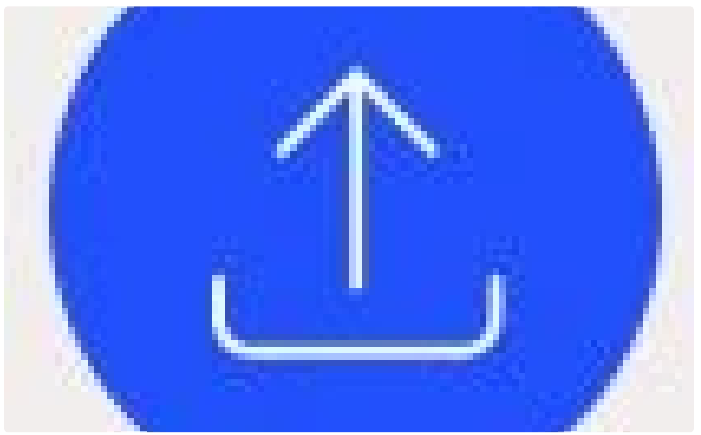
ビストラ(VST)

時価総額約680億ドル。公益事業セクターの構成比率是正に向けた有力候補です。

アポロ・グローバル・マネジメント (APO)

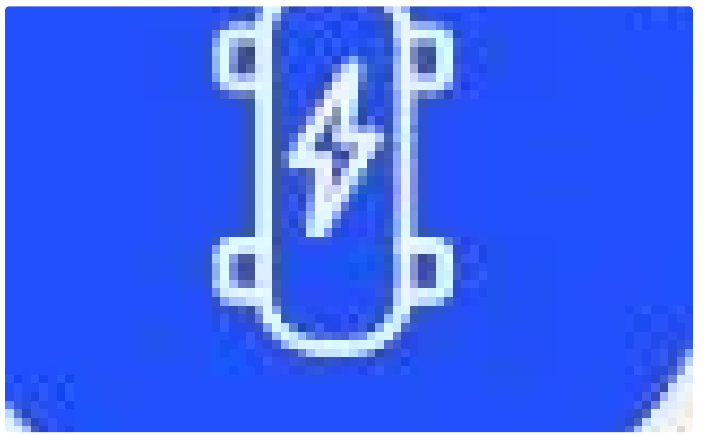
時価総額720億ドル超。オルタナティブ資産運用業界の巨人として、金融セクターの多様化に貢献します。

最有力候補:業界リーダーたち



アクソン・エンタープライズ(AXON)

時価総額550億ドル超。公共安全技術で圧倒的な市場地位を築き、高収益の継続的なソフトウェア収益モデルへの移行が魅力を高めています。



タルガ・リソーシズ(TRGP)

時価総額370億ドル超。大手中流エネルギーインフラ企業として、エネルギーセクターの構成比率を高める最有力候補です。



VICIプロパティーズ(VICI)

時価総額約340億ドル。シーザーズ・パレスなど象徴的なカジノを所有するREITとして、不動産セクターに規模を加えます。

最有力候補:専門性の高い成長企業

ヴィーヴァ・システムズ(VEEV)

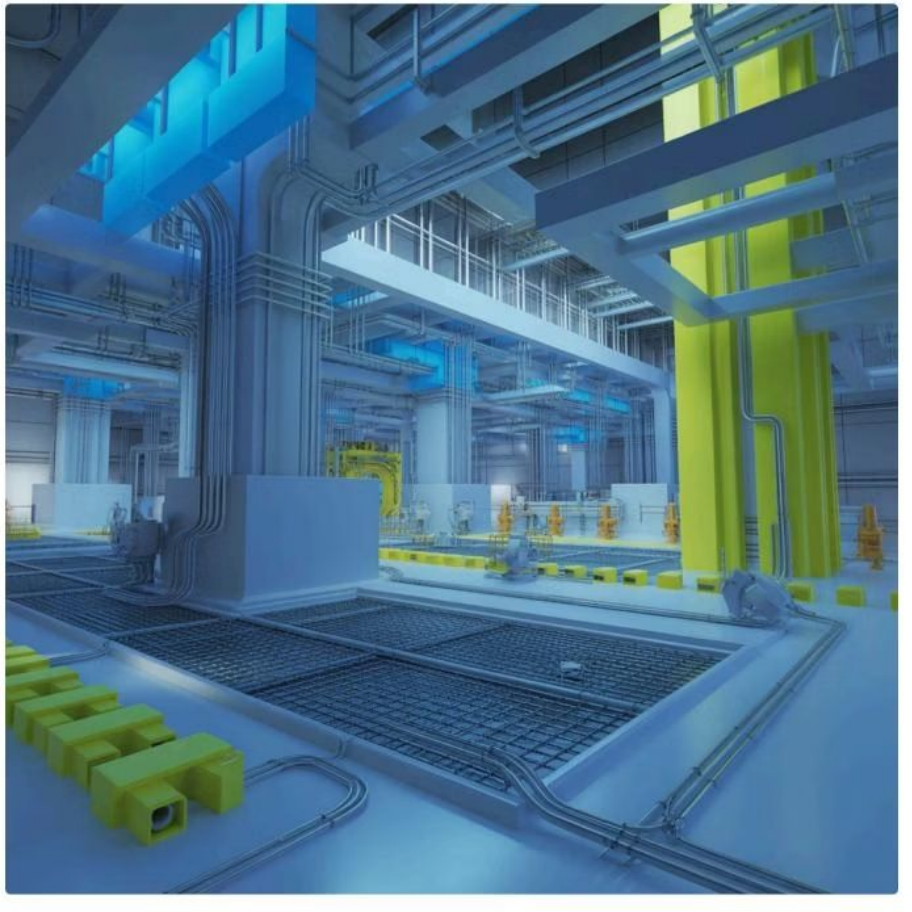
時価総額:約490億ドル

ライフサイエンス業界向けクラウドソフトウェアの圧倒的リーダー。専門的でミッションクリティカルなソフトウェアは、顧客にとって高い乗り換えコストを生み出しています。

コンフォート・システムズUSA(FIX)

時価総額:280億ドル超

機械・電気設備工事サービスのリーディングカンパニー。S&P中型株400指数から大型株指数への自然な「卒業生」です。



カテゴリー2:黒字化待ちの注目株

これらは巨大な評価額を持つ市場をリードするテクノロジー企業です。現時点では継続的なGAAPベースの黒字を達成していないため採用資格がありませんが、この重要な要件を満たせば、採用が広く期待されています。

800億

スノーフレイク(SNOW)

データクラウド市場の圧倒的リーダー。急成長を遂げていますが、4四半期連続のGAAP黒字をまだ達成していません。

390億

アトラシアン(TEAM)

JiraやConfluenceで知られるコラボレーションソフトのリーダー。GAAP黒字化基準によって採用資格がありません。

460億

ゼットスケーラー(ZS)

クラウドネイティブな「ゼロトラスト」セキュリティのパイオニア。継続的な黒字化が待たれる注目株です。

270億

モンゴDB(MDB)

先進的なデータベースプラットフォームのリーダー。継続的なGAAP黒字をまだ報告していません。

カテゴリー3:最近採用された事例研究

このグループには、最近指数に採用された企業が含まれます。これらは、委員会が現代経済を反映するためにどのようなビジネスを追加しているかを示す優れた事例です。

スーパー・マイクロ・コンピューター(SMCI)

時価総額1000億ドル超。AIに最適化されたサーバーの主要プロバイダーとして見事に再起を遂げました。

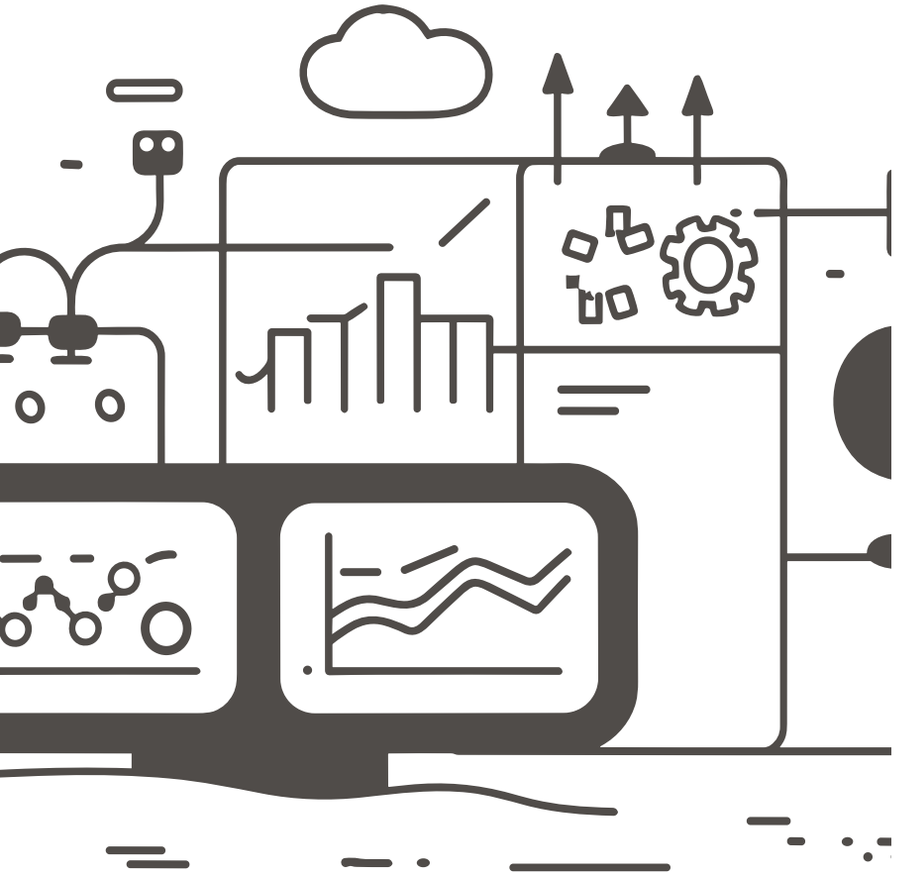
パランティア・テクノロジーズ(PLTR)

継続的なGAAP黒字を達成し、最近の採用への道を開きました。エンタープライズソフトウェアの新時代を象徴しています。

クラウドストライク(CRWD)

クラウドネイティブ・サイバーセキュリティのリーダー。デジタル時代におけるサイバーセキュリティの極めて重要な役割を反映しています。





最近採用された企業:デジタル経済の新時代

01

アップラビン(APP)

AIを活用したモバイル広告技術企業。爆発的な成長と収益性を実現し、高成長アドテク分野の主要プレイヤーが指数に加わりました。

02

ザ・トレード・デスク(TTD)

プログラマティック広告の独立系プラットフォームのリーダー。広告費がデジタルチャネルへと移行している現状を浮き彫りにしました。

03

コインベース・グローバル(COIN)

米国を代表する暗号資産取引所。デジタル資産エコシステムを現代金融の重要な構成要素として認識したことを示しています。

04

ブロック(SQ)

Cash AppやSquareを運営するフィンテック大手。デジタル決済や金融サービスが伝統的な銀行セクターに与える破壊的な影響を反映しています。

最近の「卒業生」とIPOウォッチリスト

ピュア・ストレージ(PSTG)

オールフラッシュデータストレージソリューションを提供するピュア・ストレージは、時価総額基準を超え、継続的なGAAP黒字を達成したことで、最近「卒業」を果たしました。同社のビジネスは、AIワークロードが要求する高性能ストレージの需要から恩恵を受けています。

特別枠:IPOウォッチリスト

まだ公開されていませんが、これらの高く評価されている非公開企業は、最終的にIPOを果たした際に、即座にS&P500の候補となる可能性を秘めています。



ストライプ

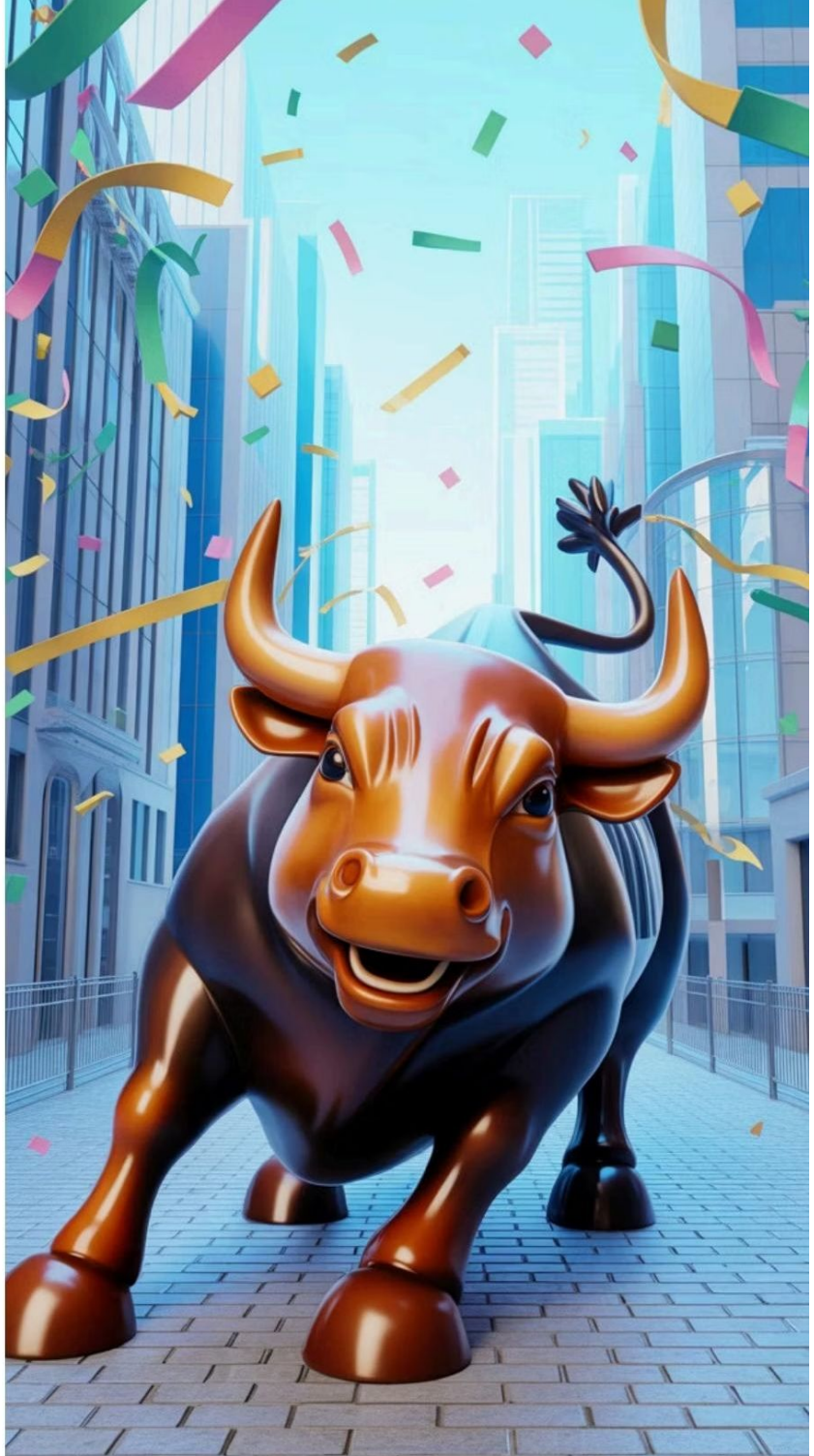
推定評価額:650億ドル

オンライン決済の巨人として、即座に大型株の仲間入りを果たすでしょう。

データブリックス

推定評価額:430億ドル超

データとAIのリーダーとして、IPO市場で注目すべきトップ企業となっています。



まとめ:S&P500採用への道筋

最有力候補(8社)

すべての定量的要件を満たし、強力な戦略的背景を持つ企業群。セクターバランスの観点からも採用の可能性が高い。

黒字化待ち(4社)

巨大な評価額を持つ市場リーダーたち。継続的なGAAP黒字を達成すれば、採用が広く期待される。

最近採用された企業(8社)

委員会が現代経済を反映するために追加した企業群。デジタル経済、フィンテック、サイバーセキュリティなど新時代のビジネスを代表。

IPOウォッチリスト

ストライプやデータブリックスなど、IPO後に即座に候補となる可能性を秘めた非公開企業。

> S&P500への採用は、企業が米国経済のトップクラスに仲間入りしたことを意味する栄誉です。厳格な基準と委員会の慎重な判断により、指数は米国経済を適切に代表する構成であり続けています。